

# AutoExe

## オートエクゼ ブレーキライン

取付・取扱説明書

登録No.	
部品番号	<b>M G H 5 4 0</b>
車名 車種	<b>マツダ アテンザスポーツ／ワゴン／セダン</b>
型式(グレード)	<b>D B A - G H E F S (2000 cc F F)</b> <b>D B A - G H 5 F S (2500 cc F F)</b> <b>D B A - G H E F W (2000 cc F F)</b> <b>D B A - G H 5 F W (2500 cc F F)</b> <b>D B A - G H E F P (2000 cc F F)</b> <b>D B A - G H 5 F P (2500 cc F F)</b>
備考	<b>F F 車 (2 5 Z 除く)</b>
取付上の注意	当マニュアルに従って、正しく取り付けて下さい。

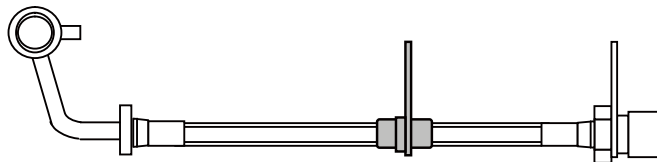
～ お客様へ ～

- ※ 取付作業を始める前に必ず取扱説明書を最後までお読み下さい。
- ※ 本製品は重要保安部品です。取付は認証工場などで行い定期的に有資格者による点検を受けて下さい。
- ※ 本書は製品保証書とともに、製品装着後も大切に保管して下さい。
- ※ 本製品は各車種ごとの専用設計となっております。上記適合車種以外への取付けや加工は絶対に行わないで下さい。

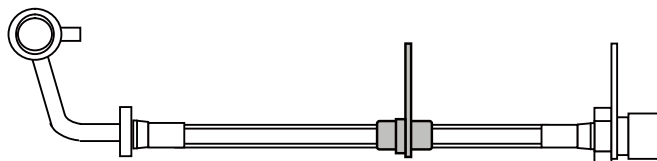
## 構成部品

取付けの前に破損・欠品などが無いか確認して下さい。

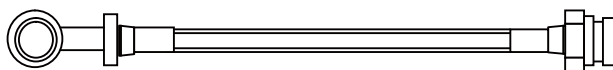
① FRONT RIGHT × 1



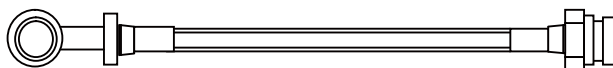
② FRONT LEFT × 1



③ REAR RIGHT × 1



④ REAR LEFT × 1



⑤ 銅ワッシャー × 8



## 取付ける前に

- ◇一部の車種については、長さ・形状・取り付け方法が、純正ブレーキホースと異なる場合が御座います。本書に従って正しく装着して下さい。
- ◇当社製品は、ノーマル車両を基準にデータを取り、製品開発を行っておりますので、下記の項目に該当する場合には、ブレーキラインがねじれたり、周辺機器に干渉する恐れが御座います。十分に注意して下さい。

■サスペンションを変更している

■車高を変更している

■アライメントを変更している

■タイヤ・ホイールサイズを変更している

## 取付上の注意

- ◇銅ワッシャー、ウェイブクリップ等、付属品のあるものは、必ず製品付属のものを使用して下さい。
- ◇フレアパイプの先端部図1の様に変形している場合には、図2の様に正常な状態に修正、又は新品に交換して下さい。そのまま装着しますと、フレアナットの破損やオイル漏れの原因となります。

図1 変形

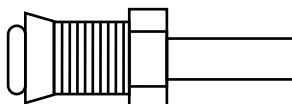
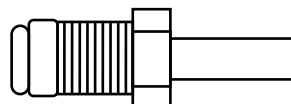


図2 正常



- ◇エア抜き作業の手順は車両によって異なります。マツダ発刊の整備書に従って正しく行って下さい。特にABS、ブレーキアシスト機構付きの車両は専用の設備が必要な場合が御座います。
- ◇エア抜き作業終了後、エンジンを始動しブレーキペダルを踏み込んだ状態で、オイルの漏れが無いか確認して下さい。ホイール装着後、ステアリングを左右に切り、ブレーキラインがタイヤに干渉しないか確認して下さい。

## 装着後の取扱いについて

- ◇法律で定められている、日常点検・定期点検を行って下さい。
- ◇本製品は消耗品です。定期的に交換して下さい。使用状況にもよりますが、交換推奨時期は3年です。
- ◇海水や凍結防止剤は錆の原因となります。走行後は洗浄を行って下さい。
- ◇走行中にブレーキ警告灯が点灯した場合や、ブレーキペダルの踏みしろが大きくなった場合には、何らかの異常が考えられますので直ちに安全な場所に停車して確認して下さい。
- ◇異常があった場合には走行を中止し、修理工場等に連絡して下さい。

# 1.フロントブレーキホースの取付け



規定トルクでフレアナットを締め付けても、オイルにじみ・漏れ等が発生する場合には、フレアパイプ先端部分の変形が考えられます。正常にシールするように、フレアナットの増し締め又はフレアパイプの修正、交換を行って下さい。



\* バンジョーアダプターを付属の銅ワッシャーと純正バンジョーボルトを使用しキャリパーに仮締めします。

- 純正の取り付け角度とは異なりますのでご注意ください。
- 純正の回り止め穴は使用しません。
- 銅ワッシャーは、必ず付属している新品を使用してください。

\* 仮締めしたバンジョーボルトを3.0kgf・mのトルクで締め付けます。

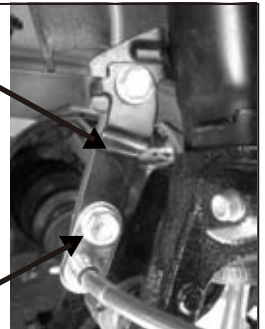


\* 純正ブレーキホースからブラケット（黒色）を取り外し、製品の間固定金具に取り付けます。

\* ショックアブソーバーのステーに、ブラケットを固定します。

ブラケット

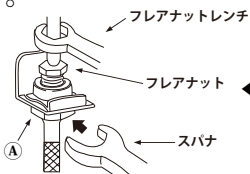
中間固定金具



\* メス側アダプターをホースのねじれに注意しながらボディ側ブレーキホースホルダーにセットし、フレアナットを仮締めします。

\* 純正ボルトで固定します。

\* 仮締めしたフレアナットを1.5~2.0kgf・mのトルクで締め付けます。



◀左図のようにフレアナットは、必ずフレアナットレンチ(専用工具)を使用しアダプター①を固定しながら締め付けて下さい。



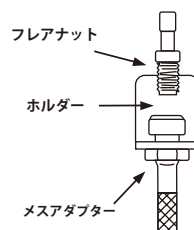
## 2.リアブレーキホースの取付け



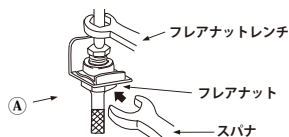
規定トルクでフレアナットを締め付けてもオイルにじみ・漏れ等が発生する場合にはフレアパイプ先端部分の変形が考えられます。正常にシールするように、フレアナットの増し締め又はフレアパイプの修正、交換を行って下さい。



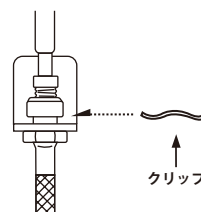
- \* メス側アダプターをブレーキラインのねじれに注意しながらボディ側ブレーキホースホルダーにセットし、フレアナットを仮締めします。



- \* 純正のウェーブクリップで固定し、仮締めしたフレアナットを1.5~2.0kgf・mのトルクで締め付けます。



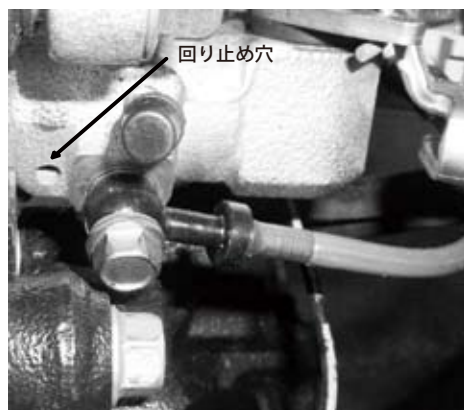
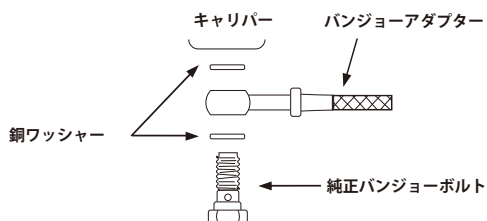
◀左図のようにフレアナットは、必ずフレアナットレンチ(専用工具)を使用しアダプター①を固定しながら締め付けて下さい。



- \* バンジョーアダプターを付属の銅ワッシャーと純正のバンジョーボルトを使用しキャリパーに仮締めします。

- 銅ワッシャーは、必ず付属している新品を使用してください。
- キャリパーの回り止め穴は使用しません。

- \* 仮締めしたバンジョーボルトを3.0kgf・mのトルクで締め付けます。右図のように純正と同じ角度になる様締め付けて下さい。



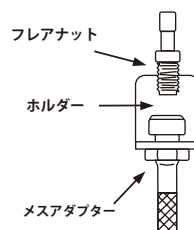
## 2.リアブレーキホースの取付け



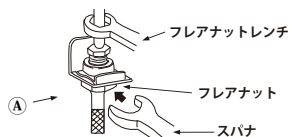
規定トルクでフレアナットを締め付けてもオイルにじみ・漏れ等が発生する場合にはフレアパイプ先端部分の変形が考えられます。正常にシールするように、フレアナットの増し締め又はフレアパイプの修正、交換を行って下さい。



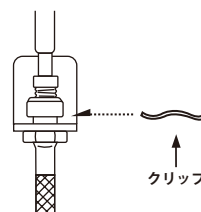
- \* メス側アダプターをブレーキラインのねじれに注意しながらボディ側ブレーキホースホルダーにセットし、フレアナットを仮締めします。



- \* 純正のウェイブクリップで固定し、仮締めしたフレアナットを1.5~2.0kgf・mのトルクで締め付けます。



◀左図のようにフレアナットは、必ずフレアナットレンチ(専用工具)を使用しアダプター①を固定しながら締め付けて下さい。



- \* バンジューアダプターを付属の銅ワッシャーと純正のバンジューボルトを使用しキャリパーに仮締めします。

- 銅ワッシャーは、必ず付属している新品を使用してください。
- キャリパーの回り止め穴は使用しません。

- \* 仮締めしたバンジューボルトを3.0kgf・mのトルクで締め付けます。右図のように純正と同じ角度になる様締め付けて下さい。

